

事業の目的

市内唯一の公立高校である林野高等学校の生徒数は、岡山県が示す県立高等学校の再編整備基準を下回る状況にあり、存続に向けた取組みが急務となっています。

林野高校の大きな魅力の一つが、国際交流、特に姉妹校協定を結んだ台湾の学校との交流や単位認定可能な長期の海外留学プログラムです。しかしながら、コロナ禍や物価高騰の影響で、十分な活動ができない状況が続いています。

そこで、グローバル人材の育成を図るこれらの取組みを支援することで、林野高校への進学を希望する生徒の増加を狙います。

事業の内容

現在交付している林野高等学校活性化事業補助金の補助金額を拡充することで、国際交流をはじめとする活性化事業の自由度を高め、林野高校の更なる魅力化に資する効果的な実施を図ります。

市のサイトへの掲載をはじめ、ご寄附いただいた企業さまを様々な形でPRさせていただきます

林野高校の生徒自身の手で作成した報告書により、事業の成果をご報告させていただきます



2019年 台湾で



2020年～ オンラインで交流

目標金額：1,000,000円

林野高校の特長

「これからの社会で求められる力の育成」に取り組み、普通科進学校としての進学指導に加え、幅広い進路実現に向け、生徒一人一人に対しきめ細やかな支援を行うことで、学校魅力化を図っている。

- ・全国に先駆けてICT環境を整備し、教育活動への端末の活用方法を全国に発信。Chromebookは、学びに向かう道具として、さまざまな教育活動に活用されている。また、『Google事例校』『学校情報化優良校』に認定され、令和5年度文部科学省『リーディングDXスクール事業』研究校の指定を受けた。
- ・課題解決型学習では、「総合的な探究の時間(MDP)」
「みまさか学」など地域と連携した活動を通じ、若者らしい発想で課題の解決方法や道筋を考える力を育成している。
- ・選択科目が豊富で、「作家の時間」「エッセイライティング」「スポーツ」「観光ビジネス」「簿記」「フードデザイン」「栄養」「社会福祉基礎」「介護福祉基礎」など多様な学びができるカリキュラムが充実している。



Chromebookを活用した授業



「みまさか学」の授業



「フードデザイン」の授業